

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）										基本施策と施策の展開（案）										資料		
基本的な方針		基本施策		第四次計画の施策の展開								読書 生涯 情報			今回追記を考えている施策							
1 社会の担い手として自立し、新たな価値を生み出していく力を育みます 子供たちがこれからの学校で学ぶ内容に焦点を当て、あいちの特色ある教育についてまとめます。	1	主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実	1 ① 主体的・対話的で深い学びの推進 1 ② 少人数教育等、学びの環境の充実 1 ③ 個別最適な学びの保障 5 ① 理数科の授業の充実 5 ② 子供の興味・関心を生かした探究型学習の推進 5 ③ 高等学校における先進的な理数教育の推進 19 ① ふるさと教育の推進																			
	2	社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進	20 ① 発達段階に応じたキャリア教育の充実 20 ② キャリア教育推進体制の充実 20 ③ 女性の活躍促進に向けた教育の充実 21 ① 科学好きの児童生徒の育成 21 ② 産業教育の推進 21 ③ 大学・専門学校、産業界との連携														イノベーション人材の育成 アントレプレナーシップ教育の推進					
	3	グローバル社会で活躍する人材の育成	22 ① グローバル社会で活躍できる人材の育成 23 ① 英語教育の充実 23 ② 小・中・高のつながりを意識した英語教育の充実 23 ③ 教員の研修の充実																			
	4	情報活用能力の育成とＩＣＴ活用教育の推進	2 ① 情報活用能力の育成 2 ② ＩＣＴを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現 11 ③ 情報モラル教育の充実														A I 人材の育成					
	5	多様なニーズに応える県立学校の魅力化・特色化の推進	4 ① 総合学科等の新たな設置と普通科の活性化 4 ② 全日制単位制高校の設置、定時制・通信制教育の充実 4 ③ 新しい公立高等学校入学者選抜の導入 4 ④ 民間教育施設との連携・学び直しの機会の充実 4 ⑤ 県立学校の魅力化と適正配置														中高一貫教育の推進 D X 人材の育成 フレキシブルハイスクール、夜間中学の設置					
	6	切れ目のない校種間連携の推進	7 ① 幼児教育の改善と充実 7 ③ 幼児教育を推進するための体制の構築 9 ① 大学との連携による教育活動の充実 9 ② 高大及び高専連携の推進 9 ③ 県立の大学の充実 26 ④ 異なる学校種間・設置者間の連携														幼保小の連携					
	7	私立学校の振興	8 ① 特色ある教育を受ける機会の確保 8 ② 私立学校に対する助成 8 ③ 保護者の学費負担の軽減 8 ④ 公私の連携																			
2 多様性を尊重し、様々な選択肢の中で自ら学ぶ力を育みます 子供たちがこれからの時代を生きていく中で寛容に他者と関わることや、学校における多様な学びを保障していくことについてまとめます。	8	豊かな心を持ち、実践力を伴った道徳性・社会性の育成	3 ① S D G s についての学習の推進 3 ② S D G s を取り入れた E S D の推進 3 ③ 環境教育の推進 10 ① 学校等における人権教育・多様性理解の推進 10 ② 家庭、地域社会における人権教育・多様性理解の推進 10 ③ 重要な人権課題への対応 11 ① 「特別の教科 道徳」を核にした道徳教育の推進 11 ② 差別や偏見を許さない、命を大切にする教育の充実 12 ① いじめを起こさせない指導の充実と児童生徒の社会性の育成 12 ② 早期発見・早期対応のための取組 12 ③ 教育相談体制の充実 12 ④ 学校と関係機関との連携 14 ① 主体的に社会参画する態度の育成、体験活動の推進 14 ② 政治的教養を育み、平和と公正を学ぶ教育の充実														○					
	9	不登校支援と多様な学びの保障	13 ① 学校等の取組の充実 13 ② S C、S S W との協力、教育相談体制の充実 13 ③ 家庭への援助 13 ④ 多様な教育機会の確保														○	不登校支援センターの設置 学びの多様化学校（不登校特例校）の設置 フレキシブルハイスクール、夜間中学の設置				
	10	インクルーシブ教育システムの構築	6 ① 多様な学びの場における支援・指導の充実 6 ② 教員の専門性の向上 6 ③ 教育諸条件の整備 6 ④ 卒業後の生活へのスムーズな移行																			
	11	外国人児童生徒への支援の充実	22 ② 多文化共生に向けた教育の充実 24 ① 外国人児童生徒の教育の位置づけの明確化 24 ② 受け入れ体制整備の支援 24 ③ 日本語指導に関わる教員の資質向上 24 ④ 学び直しのための施策の充実 24 ⑤ 高等学校における配慮 24 ⑥ I C T の活用 24 ⑦ 地域における日本語学習・日本語教育への支援 24 ⑧ 外国人児童生徒の保護者に対する働きかけの推進																夜間中学の設置			

基本的な方針	基本施策	第四次計画の施策の展開	読書	生涯	情報	今回追記を考えている施策
3 健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって学べる環境づくりを進めます 「なりたい自分」になるために生涯学び続け、健康で豊かな人生を送る社会の実現についてまとめます。	12 生涯学習の推進に向けた、支援体制の充実	15 ① 生涯にわたって学ぶ態度の育成、学べる環境の充実 15 ② 読書に親しむ態度の育成、図書館機能の充実 15 ③ 学び直しの機会の充実 15 ④ リカレント教育、教養教育の充実 17 ③ 学校部活動と地域スポーツの在り方の検討 19 ③ 伝統文化・文化財の保存・活用・継承・魅力発信	○	○		
	13 学校・家庭・地域の連携・協働による地域教育力の向上	15 ⑤ 持続可能な地域づくりを支える社会教育の充実 16 ③ ワーク・ライフ・バランスの啓発 19 ② へき地教育の振興 19 ④ 芸術の創造・発信と文化芸術の担い手・支え手づくり 19 ⑤ 県民、NPO、ボランティア、企業等が協働した多様な交流・創造の実現 26 ① 地域による学校への支援体制づくりの推進 26 ② 地域人材の活用 26 ③ 学校を核とした地域づくり		○		
	14 困難や悩みを抱える子供への支援の充実	7 ② 家庭・地域における幼児教育の支援 16 ① 家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実 16 ② 子育て家庭への支援 16 ④ 貧困状態にある子供たちへの支援		○		
	15 健やかな体の育成	17 ① 学校体育の充実による体力の向上 17 ② 学校や地域におけるスポーツ機会の充実 17 ④ アジア競技大会を通じたスポーツの振興 18 ① 心身の健康づくりの充実 18 ② 医療的知識を学ぶ機会の充実 18 ③ 学校等における食育の充実		○		
4 子供の意欲と教師の働きがいが高める魅力的な学びの環境づくりを進めます これからの学校教育を進めるための優れた人材の確保や、教職員の働き方改革、そして安全で安心して学ぶことのできる教育環境の整備についてまとめます。	16 優れた人材の確保と働き方改革の推進	25 ① 学校の役割の明確化及び教員の職務の見直し 25 ② 業務の精選と切り離し・外部人材の活用 25 ③ 長時間勤務者や学校への個別のフォローアップ体制の構築 25 ④ 部活動の在り方の見直し 27 ① 優秀な教員の確保に向けた取組の推進 27 ② 「愛知が求める教師像」の実現に向けた教員養成 27 ③ 教員の資質・能力の向上を支援する組織体制の強化 29 ⑤ 「学校の新しい生活様式」に対応した学級規模の実現			○	働き方改革ロードマップの推進
	17 安心安全な学校づくりの推進	28 ① 学校施設の防災機能の強化及び計画的・効率的な長寿命化の推進 28 ② 快適な教育環境の実現 28 ③ 理科教育・産業教育環境の充実 28 ⑤ 特別な支援を必要とする子供のための教育環境の充実 28 ⑥ 県立学校の魅力化と適正配置 29 ② 「学校の新しい生活様式」に対応した教育環境の整備 29 ③ 心のケア実施体制の充実 29 ④ 学校保健衛生対策の充実 29 ⑤ 各学校における危機管理マニュアル等の見直し 30 ① 安全に向けた実践的な活動の充実 30 ② 安全に関する学びの充実と人材の育成				
	18 教育D Xの推進及び、デジタル人材の育成とI C T教育環境の整備	2 ③ 子供の学びや教職員を支えるI C T教育環境の充実 25 ⑥ I C Tの活用による業務改善 28 ④ I C T機器などの教育環境の整備の推進 29 ① I C Tを活用した学びの保障			○	校務D Xの推進

読書…愛知県子供読書活動推進計画
生涯…愛知県生涯学習推進計画
情報…愛知県学校教育情報化推進計画

基本施策 12 生涯学習の推進に向けた、支援体制の充実

現 状 と 課 題

- 社会情勢の変化に対応し、豊かな人生を送るためには、障害の有無等にかかわらず、誰もが自分らしく学ぶことで自己を高め、幸せや生きがいを感じられるようにする必要があります。
- 社会人のキャリアアップやキャリアチェンジのニーズに対応するため、学校卒業後も、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくことが重要。
- 令和7年の学校種ごとの不読率の目標値小学校7%以下、中学校、12%以下、高等学校40%以下に対し、〇〇という状況である。(いずれの学校段階でも数値目標は達成されておらず※アンケート結果を元に今後作成)、読書習慣を定着させる取組を継続することが必要。
- 本県には、歴史的価値の高い文化財が数多く存在するとともに、地域に根ざした様々な祭礼や民俗芸能が伝承されているが、少子高齢化の進行に伴い、地域文化の担い手の減少によりその維持が難しくなっている。伝統・文化や文化財の保存を図り、次代に継承するとともに、その魅力が県内外に伝わるよう公開・活用を推進していくことが求められている。

図表

→不読率の推移(学校種別)
不読率以外の指標探す

施 策 の 内 容

① 生涯にわたって学ぶ態度の育成、学べる環境の充実

- 愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」による県民への生涯学習に関する情報提供
- 社会教育士の称号取得者を把握し、研修等の情報を提供するなど、社会教育士が活躍できる環境の基盤を整える。
- 障害のある方が安心して学べる取り組みに関する情報提供
- 地域住民の学習を保障する拠点であるとともに、地域づくり・人づくりの拠点となる公民館活動の支援。
- 愛知県生涯学習推進センターを拠点とした、生涯学習に関する講座・研修の実施と情報発信

② 読書に親しむ態度の育成

- 読み聞かせの意義や読書の重要性を紹介するリーフレットをWebページに掲載し、ブックスタート事業や家読等での活用を促進。

- 絵本の読み聞かせや、一斉読書、読書集会、読書週間等における読書活動など、就学前も含めた学校における読書活動の充実。
- 中・高校生ビブリオバトル愛知県大会の開催
- 公立図書館と学校図書館の連携を促進するとともに、生涯学習やキャリア教育の拠点となるような取組、図書の電子化など、魅力ある図書館づくりの推進。(生涯)
- 公民館、児童館や民間団体が実施する様々な子供の読書活動に関する事業の積極的な奨励。
- 障害のある子供の読書活動の推進。

③ 図書館機能の充実

- 県図書館における、障害者、高齢者、外国人などへのサービス、児童やティーンズへの読書支援や生涯学習に資する講座等の開催等、すべての県民への図書館サービスの充実
- 県図書館における、情報発信の拠点化、賑わい創出と県民の交流を促す場づくり
- 県図書館と市町村立図書館等及び学校図書館等の連携強化
- 県図書館における、電子書籍やデジタルアーカイブの充実

④ 学び直しの機会の充実

- リカレント教育についての理解を深めるためのフォーラムの開催等、取組を充実。
- 「若者・外国人未来塾」として、中学校卒業後の進路未定者、高校中退者、ひきこもり状態の人及び外国にルーツをもつ人等、社会的困難を抱える若者に対して、高等学校卒業程度認定試験の合格等に向けた学習支援や日本語習得が不十分な外国にルーツをもつ人のための学習言語としての日本語学習支援を実施。

⑤ 伝統文化・文化財の魅力発信

- 山車(だし)まつり保存団体・地元市町村と連携し、愛知の山車文化の保存・継承と振興を図るとともに、その魅力を県内外へ広く発信することを支援
- 民俗芸能大会や伝統文化出張講座の開催を通じて、保存団体の伝承活動を支援
- 「あいち朝日遺跡ミュージアム」では、東海地方を代表する弥生時代の集落遺跡の魅力を伝え、伝統・文化を尊重する心や、ふるさとへの愛着心を醸成するとともに、地域のにぎわいを創出する施設となるよう取組を推進
- 東海地方最大級の古墳「断夫山古墳」の保存活用計画を策定し、保存・活用に向けた調査、整備等を推進

点検・評価の指標

「学びネットあいち」に搭載された講座・イベント情報の数

基本施策13 学校・家庭・地域の連携・協働による、地域教育力の向上

現 状 と 課 題

- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化や人口減少、高齢化により、子供たちを支えてきた地域の教育力の低下が指摘されており、学校・家庭・地域が連携し、共に子供を育て、共に地域を作るという理念に立った対応が求められる。



施 策 の 内 容

① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- 学校を支援する仕組みとしてのコミュニティ・スクールや地域学校協働活動を活用した、子供も大人も自らが主体となって地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進するとともに、導入間もない市町村の取組を支援。
- 社会貢献意識、地域教育力、地域への愛着を高め、すべての地域の人々の生きがいを生み出す地域学校協働活動の推進するため、地域学校協働本部の整備を推進し、保護者や地域住民等と連携・協働して学校運営を行う体制づくりを支援。
- 地縁的組織を含めた地域と学校の連携・協働を進め、緩やかなネットワークを形成するための地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置を支援するとともに、地域において社会教育に携わる人々等を対象とした研修を充実させ、地域活動に参加する人材を育成。
- 県立高等学校と地域の関係性を整理し、学校と地域をつなぐコーディネーターや地域連携担当教職員の育成等、それぞれの学校の特長を生かしたネットワークづくりの方策を研究。

② 芸術の創造・発信と担い手・支え手づくり

- 「アートフェスター愛知県高等学校総合文化祭」の開催により、高校生に文化芸術活動の発表の場を提供し、文化芸術への関心を高め、豊かな創造性の育成を図る。
- 愛知県立芸術大学における教育研究の充実を図るとともに、若手芸術家に活動の場を提供することにより、芸術文化に携わる優れた人材育成の支援
- 実務経験や専門的知識を有する社会人を積極的に活用している私立高等学校の支援

③ 各種団体が共同した多様な交流の実現

- 愛知県立芸術大学を始め、地元の芸術系大学との連携を強化し、大学の研究成果の社会還元促進や、県民ニーズに対応した演奏会、講演会、美術展の開催等に取り組む。
- 県内を拠点に活動している文化活動団体及び地域の文化振興に資する団体による自主的・自発的な文化活動を支援。
- 愛知芸術文化センター及び愛知県陶磁美術館のホールやギャラリーを、文化芸術団体などの活動発表の場として活用し、文化芸術に関わる多様な交流・創造を推進。

④ 部活動と地域展開の在り方の検討

- 学校内で運営されてきた部活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく部活動の地域展開の推進
- 公立中学校の休日の部活動については、原則、全ての学校部活動において、地域展開の実現

点検・評価の指標

（案1）・・・。

基本施策 14 家庭教育・子育て支援・子供の貧困対策の充実

現 状 と 課 題

- 家庭教育は全ての教育の出発点であり、家庭の教育的役割が果たされることは、あらゆる教育の基盤となるが、核家族化による家庭における教育力の低下や、地域社会の人間関係の希薄化による子育て家庭の社会的孤立、貧困家庭の増加などの状況があり、支援の充実が求められている。
- 家庭や子育てについては、社会全体で子供や子育て家庭を応援する気運の醸成を図り、企業や家庭などにおいて、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関する取組を推進し、性別による役割分担意識の解消を図ることも必要。

愛知県の核家族化または貧困家庭数のグラフ

施 策 の 内 容

① SC・SSWの充実

- スクールカウンセラーの小中学校への配置を継続するとともに、県立学校への配置拡充に努め、不登校などの未然防止、早期発見・早期対応に努める。
- スクールソーシャルワーカーの小中学校への配置について市町村を支援するとともに、県立学校への配置拡充に努め、児童相談所等の関係機関と連携を強化し、教育相談体制を充実。

② 家庭・地域における幼児教育の支援

- 保護者や地域の幼児教育に関する理解を深めるため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を活用した啓発活動や、保護者等に対する相談体制の整備の推進、地域における家庭教育支援の充実。
- 家庭教育支援チームを設置し、家庭教育支援の取組の活性化促進。
- 多胎児家庭や子育てに不安や孤立感を抱く家庭にボランティアが訪問し、話を聴いたり、一緒に家事や外出したりすることにより、子育ての孤立感や不安の軽減を図る家庭訪問型子育て支援推進事業「ホームスタート」をNPO等の地域団体や市町村と連携し推進。
- 「小1の壁」を打破し、待機児童の解消に向けた、放課後児童クラブの計画的な整備等の推進。また、放課後子ども教室について、実施市町村の拡大に向け、未実施市町村への働きかけ。

③ 家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実

- 「愛知県こども計画 はぐみんプラン 2029」（2025年3月策定）に基づき、子供・若者・子育て家庭へのライフステージに応じた切れ目ない支援、ライフステージ全体を通した課題に対応した取組を推進。
- 「親の学び」学習プログラムを活用した講座や企業が開催する研修会に講師を派遣し、親としての学びと育ちを支援する取組を支援。
- 地域で子育て中の保護者や家庭教育を支える立場となる子育てネットワーカー養成講座の充実。
- 家庭教育コーディネーターや、家庭教育支援員（ホームフレンド）などによる相談活動の充実。
- 「子育てハンドブック お父さんダイスキ」（県作成）の配信や家事・育児についての啓発活動を実施することによる、男性の家事・育児への主体的な参画を促進。
- 保育体験学習を行う高校生を積極的に受け入れている私立幼稚園や、幼稚園・認定こども園・保育所における保育体験学習を積極的に推進している私立高等学校の支援

④ 貧困状態にある子供たちへの支援

- 家庭環境に左右されずに、子供の学び場が保障されるよう、公立小中学校において少人数教育を充実し、きめ細かな指導を推進
- 小中学校における就学援助について、制度の趣旨に沿った援助の実施と市町村への周知
- 公私立高等学校・専修学校高等課程等における就学支援金、奨学金貸付金、奨学給付金、入学料・授業料の減免、私立高等学校・専修学校高等課程における入学納付金の補助を周知し、修学継続を支援
- 新規学卒者等について、ヤング・ジョブ・あいちにおいて就職支援を実施。

⑤ ワーク・ライフ・バランスの啓発

- 「県内一斉ノー残業デー」を始めとする定時退社の取組等の企業への呼びかけや、愛知県ファミリー・フレンドリー企業表彰によるワーク・ライフ・バランス推進の気運醸成
- テレワークの普及・導入の推進など、個人や家庭の事情を考慮して働き続けることができる職場環境の整備

点検・評価の指標

（案1）・・・。

基本施策8 豊かな心を持ち実践力を伴った 道徳性・社会性の育成

現状と課題

- 命を大切にする心や他人を思いやる心、人権を尊重する心などを育て、社会の担い手として多様な人々と手を携えて生きて行ける、豊かな人間性と確かな実践力を育むことが必要。
- いじめについては、積極的に解決を図ろうとしていることが認知件数に表れているが、深刻化させないための相談体制を充実させるとともに、今後ますます懸念されるSNS等によるいじめへの対応が必要。 **↓愛知県版に差し替える**



施策の内容

① 道徳教育の充実

- 「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」に取り組む研究推進校を中心とした、道徳教育の推進と成果の還元。
- 道徳教育総合推進サイト「モラル BOX」を活用した、道徳教育に関する実践交流（情報共有）。
- 高等学校では、道徳教育指導参考資料「明日を拓(ひら)く」や、地域ゆかりの偉人をまとめた副読本の教材等を活用するなど、教育活動全体において道徳教育を展開
- 世代や年齢を越えた交流、異校種間での交流、集団での交流活動等、学校と地域が協力した様々な体験活動の一層の推進

② いじめ防止対策の充実

- いじめや暴力行為等の未然防止・早期発見・早期対応のために、組織的に対応するとともに、学校と警察との情報連携・行動連携を一層推進
- 関係機関で構成する愛知県いじめ問題対策連絡協議会におけるいじめ防止対策の一層の充実
- 児童生徒の社会性を育むため、他人の気持ちを共感的に理解し、お互いの人格を尊重する態度を養うことができるよう、日常の自治的な活動や社会体験・生活体験などを積極的に推進
- いじめの実態を把握するため、定期的なアンケート調査や教育相談の実施、保護者用のいじめチェックシート等に取り組むとともに、日頃からいじめを訴えやすい雰囲気醸成。
- 専門性を生かした相談活動を一層促進するためのスクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーを活用した相談体制の整備
- 公立小中学校を対象に、スクールロイヤーを配置し、専門的知識・経験に基づき、法的側面からいじめの未然防止及び課題の効率的な解決を行うとともに、学校における相談体制の整備・充実を推進
- インターネット上のいじめの早期発見・早期対応および人権侵害を防止するため、ネットパトロール事業を継続するとともに、児童生徒の情報モラルに関する指導力の向上のため、学校と関係機関が連携し、教員の研修を推進
- いじめの未然防止に資する教員研修等の実施、生徒へのカウンセリングを担当する教職員の配置、生徒への情報モラル向上に関する講演会、研修等を実施している私立高等学校の支援

③ 人権教育の推進

- 「あいち人権推進プラン」に基づき、人権が尊重され、差別や偏見のない郷土愛知の実現を目指して、家庭、地域社会、学校等あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進。
- 児童生徒が人権や多様性への理解を自らの問題として考え、判断力や実践力を身に付けることができるよう、効果的な学習方法や指導方法の改善・工夫
- 教員・保育士が人権教育や多様性理解に関する指導力の向上を図るため、職務や経験年数に応じた研修の継続的な実施
- 学校においては、「子どもの権利条約」の趣旨を認識し、児童生徒一人一人を大切にしたい教育を進めるとともに、発達段階に応じた指導により、基本的人権尊重の精神を育成。

- 児童虐待を防止するため、児童相談所、学校、医療機関、警察等、地域の関係機関のネットワークを強化
- 児童生徒の発達段階や地域の実態に即し、部落差別について正しく理解し、差別のない社会を実現していく意識と実践力を身に付ける教育の推進
- 性的指向・性自認に関する人権問題について、正しい理解と認識を深める教育・啓発を進めるとともに、当該児童生徒の個別の状況に配慮した支援
- 家庭における人権学習・教育や多様性理解が進むよう、家庭への情報提供や、子育てに関する相談体制の充実など、家庭への支援。
- 地域社会、家庭、学校が連携して人権学習、教育・啓発に取り組むことができるよう、PTA等社会教育関係団体等の活動を支援するとともに、各市町村、地域における人権教育・啓発の要となる人材を育成するため、指導者の養成・研修を実施。
- 「あいち人権センター」を拠点として、様々な啓発活動を行うとともに、各地域の社会教育施設が身近な人権教育・啓発の拠点として機能するよう支援。
- 私立学校における人権教育を支援するため、研修など様々な機会を捉えた人権に関する資料や情報の提供の充実

④ 主権者教育の推進

- 主権者として必要な政治的教養を育成するため、ICTを活用した探究的な学びを中心に、生徒の政治への関心や参加意識を高める取組の推進。
- 学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事でのボランティア活動や職場体験活動等を通じ、集団の一員としてよりよい学校づくり、社会づくりに参画する態度を育む教育の推進。
- 高等学校では、公民科、特に「公共」の中で、公共的な空間における人間としての在り方、基本原理等を学ぶ教育を推進。また、公民科や家庭科の中で、現代の民主政治や政治参加の意義、現代の経済社会と経済活動、財政と税、社会保障、国際平和等の現代社会の諸課題、持続可能な消費生活等を学ぶ教育の推進
- 高等学校・特別支援学校高等部では、総務省・文部科学省が作成した副教材「私たちが拓(ひら)く日本の未来」等を活用し、政治的教養を育むとともに、外国人生徒の多様な主権にも配慮しながら、選挙制度の理解を図る活動の推進
- 学校教育における政治的中立性の確保に関する研修を継続的に行い、教職員が不安なく主権者教育を行うことができる環境を整備

⑤ SDG s 教育の推進

- 各学校における総合的な学習の時間やあいちグローバルハイスクール等の取組を通して、SDG s の理念や意義を学ぶとともに、各教科や活動にSDG s を関連付けた学習を推進。
- ユネスコスクールの活動事例集の発行や、ユネスコスクール交流会、ユネスコスクール支援会議を開催。
- SDG s の理念を取り入れた新たなESD（持続可能な開発のための教育）の視点に立った学習指導や教員研修を充実。
- SDG s 達成に向けた取組を進めるため「SDG s 推進フェア」を開催
- SDG s の理念を取り入れた新たなESDの視点に立った学習指導や教員研修、ユネスコスクールに加盟している私立高等学校を支援。

⑥ 環境教育の推進

- 「愛知県環境学習等行動計画2030」に基づき、「家庭」、「学校」、「社会」において、それぞれが連携・協働した環境学習を推進
- 小中学校における環境に関する出前授業や、小学校高学年を対象とした環境学習副読本「わたしたちと環境」等を活用した、自然、水・空気、資源循環、地球温暖化等に関する環境学習を推進
- 県内の環境学習施設の利用や身近な自然の中での体験学習など、発達段階に応じた環境学習の実施
- 「環境教育 協働授業づくりハンドブック」等を活用した研修の実施により、学校が社会に開かれた教育課程を実現しやすい環境づくりを推進
- 講演会や体験活動等による環境教育を実施している私立中学校、高等学校の支援

点検・評価の指標

(案1)

基本施策2 社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進

・現 状 と 課 題・

- 先行き不透明で将来の予測が困難な現代において、キャリア教育は、どんなに社会が変化しても必要とされる確かな勤労観や職業観を育む上で重要な役割を担っている。その上で、アントレプレナーシップ教育をカリキュラムに位置づけ、子供たちが自分の手で自分の人生を切り開いていくという主体性や、自ら社会を創っていくという意欲を育む必要がある。

・施 策 の 内 容・

・① 発達段階に応じたキャリア教育

- 小中高を通じて、キャリア活動の取組をキャリア・パスポートに記録・蓄積
- 「魅力あるあいちキャリアプロジェクト」により、小学生は体験活動等を、中学生は職場体験等を核としつつ、学校での学びと将来の職業とのつながりを見通し、学習意欲を高められるキャリア教育の推進
- 高等学校では、キャリア教育コーディネーターによりインターンシップ等に参加する生徒の増加を図るとともに、アカデミック・インターンシップ等の取組を推進
- 高等学校の専門学科を対象として、生徒がより実践的な技能の習得を目指せるように、産業界と連携した地域産業の専門講座等を始め、様々な講座を開催。
- 特別支援学校では、地域の福祉施設や企業等とのさらなる連携を図り、小学部段階での見学や中学部段階での体験実習の拡大など、早期からの系統的な取組を推進。

・② キャリア教育推進体制の充実

- 産業界・地域と連携したキャリア教育の強化を図るため、企業のキャリア教育への参画を促進するなど、地域全体で取り組むキャリア教育推進体制の構築。
- 職業訓練・研修、キャリア教育等の産業人材育成情報について、ポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」による情報の発信。
- 職業学科の老朽化した実習用設備の更新、進展する産業技術に対応した新規設備の整備。
- 地域の産業界、労働界、教育機関、職業能力開発機関など産学行政の連携により、ものづくり・職業教育を促進し、産業人材を育成。
- 全国初の公設民営により設置した愛知総合工科高等学校専攻科における企業との連携など特色ある教育を推進。

- 地域の企業等と連携して、インターンシップ、外部講師等によるキャリア教育の推進に関する講演会、研修等を実施している私立高等学校の支援
- 特別支援学校では、就労アドバイザーによる実習先の開拓
- 特別支援学校における社会のニーズに応じた作業学習のカリキュラムや職業能力検定の開発（再掲）

・③ アントレプレナーシップ教育の推進

- 小中学校では、将来を生き抜く「考える力・動く力・創る力」を育む体験型プログラムへの取組を推進。
- 高等学校では、「普通科アントレプレナーシップ教育推進事業」により、汎用性の高い教育プログラムを考案し、成果を広く県内の高校に普及
- 職業学科において、実際のビジネスに即したアントレプレナーシップ教育を研究実践し、専門科目の知識や技術を応用して新たな価値を生み出す創造力豊かな人材を育成する。

★ アントレプレナーシップ教育について ★ 【引用：文部科学省サイト】

アントレプレナーシップとは、様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神です。

多くの仕事がAIやロボットに置き換わっていく社会において、どのように生きるかを考え、実行する力を習得することがこれまで以上に必要になってきています。

アントレプレナーシップ教育は、自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育であり、起業家を育成するだけのビジネス教育とは異なります。

・④ イノベーション人材の育成

- ロボット産業等、これからの産業を担い新たな科学技術イノベーションの起爆剤となる、スタートアップを創出できる人材を育成
- 高校生を対象として、自作したバッテリーの性能を競う競技会等を開催し、次世代電池の研究開発等を担うイノベーション人材を育成

・⑤ 女性の活躍促進に向けた教育の充実

- 発達段階に応じた男女共同参画に関する教育の一層の推進
- 産業界や大学と連携し、女子生徒の理工系分野への関心を高めることや、リーダーとして活躍できる女性の育成などの取組の実施及びその成果の発信

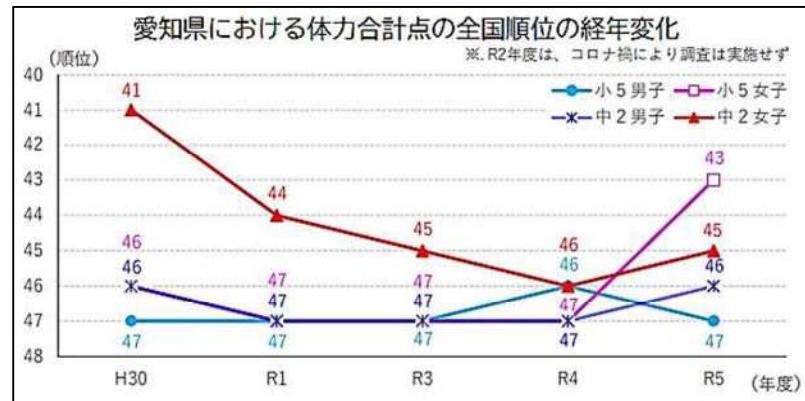
・点検・評価の指標・

インターンシップ等に取り組んだ高等学校の生徒数

基本施策 15 健やかな体の育成

現 状 と 課 題

- 2024年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における本県の体力合計点は、小学校、中学校の男女ともに全国平均を下回っており、各学校段階において、子供の体力向上に取り組むとともに、各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実することが求められている。
- 生涯にわたって健全な食生活を送ることができるようにするため、学校教育活動全体を通して、家庭や地域、関係機関と連携しながら、食育に関する取組を進めていくことが必要。
- 近年、健康や性・薬物等に関する様々な情報の入手が容易になり、子供たちの心身の健康状態や健康にかかわる行動に大きく影響を与えているため、子供たちに適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を身につけさせることが必要。



施 策 の 内 容

- ① 学校体育の推進
 - 小中学校においては、児童生徒の体力向上に向けた学校体育の充実
 - 体力づくりの優良校や体力テストの優良児童生徒の顕彰
 - 経験豊かな教員の指導法等を学ぶ研修や、スポーツの安全性の向上や事故防止等に関する研修の実施
 - 学校における教育活動全般を通じたスポーツ事故やスポーツ障害の予防に関する安全教育の充実
- ② 健康教育の推進
 - 近年の子供たちを取りまく健康課題に関する教職員の指導力・対応力の向上を図るための研修の実施
 - 学校医・学校歯科医・学校薬剤師等と連携した保健指導の充実
 - 心の健康や健康な生活の送り方に関する内容について、それぞれの発達の段階に応じた指導の充実

- 感染症を予防するための知識の普及や啓発
- 児童生徒の自殺予防に向けた自殺予防啓発リーフレットの活用
- 文部科学省が作成した「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」や「端末利用に当たっての児童生徒の健康等に関する啓発リーフレット」等の活用による、目などの健康について児童生徒、保護者に向けた啓発及び教育活動中の指導に生かすための教員研修の実施
- 外部講師等による薬物乱用防止に関する講習会や研修を実施している私立高等学校の支援

③ 学校における食育の推進

- 専門研修の実施による教職員の食育推進体制の充実
- 地域食材の活用と家庭での地場産物・郷土料理の啓発
- 体験学習等による地域食文化の継承機会の充実、多様な食文化・習慣への理解促進
- 基本的な食習慣と食事作法の習得を目指し、地域連携による給食や弁当を活用した食育の推進
- 食物アレルギーについて、手引きやリーフレットを活用した市町村・保護者への啓発・支援
- 食育関連の講演会、研修、体験学習の実施支援
- 食育に関する外部講師等の講演会や研修、生徒の体験学習を実施している私立高等学校の支援

④ 運動部活動と地域スポーツの在り方の検討

- 望ましい部活動の在り方についての検討を進め、学校部活動の段階的な地域展開に向けて、環境整備の推進と地域の人材確保の仕組を構築
- 授業や部活動等への、地域のスポーツクラブ指導者やトップアスリート、スポーツボランティア等の活用の充実

⑤ アジア競技大会・アジアパラ競技大会を契機としたスポーツの振興

- 「アジア競技大会・アジアパラ競技大会を活用した地域活性化ビジョン」に沿った取組の推進
- 愛知の競技力向上に向け、効果的にアスリートの強化を図ることができるように支援するとともに、「あいちトップアスリートアカデミー」を活用し、オリンピック等の国際競技大会で活躍する地元選手の発掘、育成

点検・評価の指標

(案1)